

2016年度 同窓会支部 総会報告

愛媛県支部総会

2016年10月15日

国際ホテル松山
(松山市)

講演 小島誠志 牧師

『かけがえのない一人を追い求める教育』



小島牧師のハーモニカ演奏

九州支部総会

2016年10月22日

ホテル高千穂
(宮崎県西臼杵郡)



香川県支部総会

2016年11月12日

四国学院大学

講演 池内功 四国学院大学名誉教授

『チンギス・ハンの人材登用法から学ぶ』



沖縄県支部結成総会

2017年3月4日

沖縄県市町村自治会館
(那覇市)

講演 西谷清美

四国学院大学教授

『ヤンバルクイナと
「チムグリサ」から
本当の福祉を考える』



滋賀県支部総会

2016年10月8日

立命館大学
びわこさつキャンパス
(滋賀県草津市)

講演 杉本孝作

四国学院大学副学長

『21世紀型
リベラル・アーツ～
高大接続改革が
めざすもの～』

関東支部総会

2016年11月19日

アルカディア市ヶ谷
(東京都千代田区)

講演 清水幸一 四国学院大学教授

『今の子どもの遊びから見えること』

箏演奏 中島美都里



CONTENTS

2016年度支部総会報告 …p1
 2017年度支部総会案内 …p2
 同窓生からの便り ……p4

サークル紹介 ……p4
 Welcomeホームカミング ……p5
 事務局からのお知らせ ……p6
 大学関連 ……p7

発行日/2017年6月 発行者/四国学院同窓会

〒765-0013 香川県善通寺市文京町3丁目2番23号 e-mail rogosu@sg-u.ac.jp



0120-459500

TEL 0877-62-5500(直通) 平日8:30~17:00 FAX 0877-63-4599

2017年度同窓会支部総会のご案内

高知県 支部総会

開会礼拝 黒田若雄 牧師
(日本キリスト教団高知教会牧師、学校法人四国学院評議員、黒田警雄先生ご子息)



- 開催日時 2017年8月19日(土)
 - 受付17:30 ● 開会礼拝・支部総会18:00~19:00
 - 懇親会19:00~21:30
- 会場 「リバーサイドホテル松栄」 高知市天神町8-1 TEL.088-832-3211
- 会費 5,000円(現役学生歓迎 学生会費無料)
- 返信締切 2017年8月12日(土)

福岡県北九州市で九州支部総会を下記のとおり開催いたします。大分県、宮崎県で開催し、今年度で3回目となりました。以下、「なぜなに北九州」HPより引用「北九州の魅力は、まずなんといっても豊富なグルメでしょう。ウニやフグなど、新鮮な海の幸山の幸を味わえるだけでなく、ちゃんらーや焼きカレーなど北九州ならではの料理もたくさんあります。お店を見かけたら是非とも入ってみたいですね。グルメだけでなく、景観も素晴らしいです。300本もの桜の木を見ることが出来る小倉城や、レトロな雰囲気ただよふ門司港レトロなど、一度行くと帰りたくなる素晴らしい場所に溢れています。また、宇宙をテーマにしたテーマパークスペースワールドや恐竜博物館のいのちのたび博物館などお子さまも楽しめる施設も充実しています。」今年度も福岡県で、年代を越え母校を同じくする九州在住の同窓生方々との親睦を深めていきたいと願っております。九州だけではなく、どなたでも気軽に参加できますので、お誘いの上、ご参加いただけますよう心よりお待ちしております。九州支部 支部長 黒木幹雄

九州 支部総会

- 開催日時 2017年10月14日(土)
 - 受付16:30 ● 支部総会17:00~18:00
 - 懇親会18:00~20:00
- 会場 「小倉リーセントホテル」 公立学校共済組合北九州宿泊所 北九州小倉北区大門1丁目1-17 TEL.093-581-5673 ※小倉城の近くです。
- 会費
 - ・ 宿泊&懇親会 12,500円 ※朝食代別です。希望者980円
 - ・ 懇親会のみ 6,500円
- 返信締切 2017年9月9日(土)
- お問い合わせ ①e-mail 淵上恵史 y-k20090808@cma.bbq.jp
※公立学校共済組合員の方は宿泊費の割引がありますので、個別で予約をお願いします。その旨、申し込みの際に、お知らせください。

大阪だけでなく近隣県にお住まいの方、どなたでも気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。当日は、大学の現況報告、懇親会も予定しております。大阪支部 支部長 辻本正裕

大阪 支部総会

- 開催日時 2017年10月21日(土)
 - 受付10:30 ● 支部総会11:00~11:30
 - 四国学院現状報告11:30~12:00 ● 懇親会12:00~14:00
- 会場 「メルパルク大阪カトレア(新大阪)」 大阪市淀川区宮原4-2-1 TEL.06-6350-2125
- 会費 4,000円
- 返信締切 2017年10月14日(土)

他近隣県からのご参加もお待ちしています。岡山県支部 支部長 松田信一

岡山県 支部総会

- 開催日時 2017年11月3日(金)
 - 受付10:30 ● 支部総会11:00~11:30
 - 講演会11:35~12:35 ● 懇親会12:40~15:00
- 会場 「オルガホール2階」談話室 岡山市北区奉還町1-7-7 TEL.086-256-7244
- 会費 3,000円
- 返信締切 2017年10月20日(金)

講演会 『新聞おもしろ話—ニュース報道の現場から』



長年の仕事場である新聞製作の現場から、裏話も交えて舞台裏を披露します。
講師／滝本清文(たきもと きよふみ) 山陽新聞ちまた友の会副代表
 1969年、同志社大学卒業後、山陽新聞社に入社。高松支社編集部、本社社会部副部長、玉野支社支社長、解説委員室長、編集局長、倉敷支社支社長、編集局総務などを経て、2006年、山陽計算センター(山陽新聞の関連会社)に外向し代表取締役社長。社長退任後、山陽新聞社に復帰し、08年、定年退職後も嘱託記者として紙面作りに携わる。岡山県NIE推進協議会幹事、山陽新聞カルチャープラザ運営委員会幹事も兼務。現在は山陽新聞の投稿者団体「ちまた友の会」副代表を務めている。2012年から四国学院大学非常勤講師(ネットワーク社会論)。三豊市出身、70歳。



香川県
支部総会

- 開催日時 2017年11月11日(土)
 - 会場 四国学院大学共生館(学食)2階喫茶室
- 詳しくは、四国学院同窓会ホームページにてご案内いたしますのでご覧ください。

関東支部には、学院創立当初の卒業生が沢山おられるのが特徴です。今回は、杉本孝作副学長のご講演のあと、交流会で当時の学生生活や大学の様子等、貴重なお話しうかがえたらと思います。お近くにお住まいの方には、是非お越しいただき、勿論、若い世代の方もお待ちしております。

関東支部 支部長 山田昭和

関東
支部総会

- 開催日時 2017年11月18日(土)
- 受付12:00 ●講演会12:30~13:30
- 支部総会・交流会・懇親会13:30~16:00
- 会場 「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」
- 千代田区九段北4-2-25 TEL.03-3261-9921
- 会費 7,000円
- 返信締切 2017年11月11日(土)

講演会 『四国学院 今昔物語』



講師／杉本孝作 四国学院大学副学長

1972年大阪大学卒業までは大阪に在住、その後10年、東京で暮らし、1982年四国学院大学に着任。大学、大学院時代は有機合成化学が専門、現在は、大学教育、理科教育、環境教育をテーマに教育と研究を進めている。教務部長、短期大学学長事務取扱を歴任、短大の最後を取る。現在は副学長(教学担当)を務め、学生との年齢ギャップに日々苦悩している。



徳島県
支部総会

- 開催日時 2017年11月18日(土)
- 受付13:30 ●講演会14:00~15:30
- 支部総会15:40~16:00 ●懇親会16:10~18:00
- 会場 「ホテルグランドパレス徳島」徳島市寺町本町西1-60-1 TEL.088-626-1111
- 会費 5,000円
- 返信締切 2017年11月7日(火)

講演会 「ワンガリ・マーザイとベアテ・シロタ・ゴードンと日本」



この二人の名前を聞いたことがありますか。ワンガリは、ケニアで初めてのノーベル平和賞の受賞者であり、ケニアそしてアフリカで「グリーンベルトムーブメント」を始めた創始者です。それは、地球温暖化防止京都会議(COP3)(1997年)で議定書が採択される20年も前のことでした。彼女はこの植林活動を通して、民主主義と女性の地位向上、持続可能な開発をめざしました。日本人が忘れかけていた言葉「もったいない」を使って世界でキャンペーンを繰り広げました。ベアテは、第二次世界大戦後に制定された日本国憲法の誕生に深くかかわりました。日本で少女期を過ごした彼女は、日本では女性がいかに不平等に扱われているかを目の当たりにし、そして似たようなことはアメリカにもあることに気づきました。大日本帝国憲法下の日本では国民に主権はなく、さらに女性は「家族制度」にも縛られていました。彼女は日本国憲法のGHQ草案を作成するにあたり、豊富な語学力と作成能力と強い意志を発揮して、現在ではだれもが当たり前を感じる憲法を提案しました。

講師／ムアンギ・ゴードン 四国学院大学教授(政治学、平和学)、理事・評議員。

京都大学大学院 法学研究科・博士後期課程学修認定退学(政治学専攻)、
京都大学法学部助手、国公私立大学非常勤講師、四国学院大学助教授などを経て現職。

広島県
支部総会

- 開催日時 2018年1月27日(土)
 - 支部総会・交流会・懇親会11:00~14:00
 - 会場 「福山ニューキャッスルホテル」
 - 福山市三之丸町8-16 TEL.084-922-2121
- 詳しくは、四国学院同窓会ホームページにてご案内いたしますのでご覧ください。

四国学院同窓会ホームページでもご確認ください。

各講演会は、一般の方も聴講できますので、ご友人、ご家族様と一緒にお越しください。
近隣支部への参加、勤務地や開催日にお近くいらっしゃる等、どの支部でも参加はご自由です。



1. 申込方法

- ①同封のハガキにて返信 ②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp
 - ②の場合、ハガキと同様、必要項目を入れて送信ください。
- 受信確認の返信をしますので連絡がない時は、お手数ですが、TELでご一報ください。

2. お問い合わせ

- 「四国学院同窓会事務局」
- ①0120-459-500(平日8:30~17:00) ②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp
- 携帯電話、e-mailに支部総会のご案内をさせていただく場合がございます。



四国学院ESS OB会開催と 橋本先生の受賞祝賀会開催



平成28年10月22日、ESS OB会にビッグニュースが届きました。

高松在住の藤本京子さん(昭和44年度卒)が、テレビのニュースでESS OBで6代目部長の現四国学院大学 社会学部長の橋本一仁先生(昭和45年度卒)が「平成28年度 香川県文化功労者表彰」を受賞されるのをご覧になり、早速横浜のボストン朋代さん(旧姓:松島 昭和45年度卒)と東京の江草香代子さん(旧姓:久保 昭和45年度卒)に連絡され、お二人からOB会にニュースが届きました。

早速OB会を開催し、受賞を祝う会を行いましたので、写真を添えて報告を致します。



開催日 平成28年12月10日(土曜日)

山本同窓会会長の祝辞▶
会長もESS OB

場所 高松市「リーガホテルゼスト高松」

出席者 21名(案内はがきは175通発送)

- 第一部**
- ①開会の辞 7代目部長 岡田良敬(昭和46年度卒)
 - ②代表祝辞 山本 宏様 現四国学院同窓会会長(昭和52年度卒)
 - ③記念品贈呈 岡内 久様(昭和45年度卒)
 - ④花束贈呈 藤本京子様(前出)花束はOB会、及び高知在住の大島邦子様(旧姓:幾井 昭和46年度卒)、つくば市在住の伊坂千代子様(旧姓:斎藤 昭和49年度卒)から提供がありました。
 - ⑤橋本先生御礼の挨拶の後、全員で記念撮影を行いました。



橋本先生御礼挨拶



参加者全員で記念撮影

- 第二部**
- ①乾杯 4代目部長 田村稔彦様(昭和43年度卒)のご発声で祝宴を開始。懇親では出席者お一人お一人からお祝いのメッセージと思い出をご披露。その後、皆でWe shall overcomeを歌い大いに盛り上がりました。
 - ②閉会の辞 この会を開催するにあたりご尽力頂いたボストン朋代様(前出)から頂きました。

お祝いのメッセージでは、四国学院での出会い、一期一会の素晴らしさ、心を一つにして戦ったドラマコンテストの思い出など数え切れない沢山の思い出を語っていただき、次回の再会を誓いました。

文責:ESS OB会代表 1971年度英文学科卒業 岡田 良敬

四国学院大学サークル紹介

剣道部



剣道部は10名という少人数ではありますがチームワークの良さを活かし、日々積極的に活動をしています。現在は顧問の漆原光徳先生のご指導のもと、毎週月曜日と水曜日の午後5時から稽古に励んでいます。

四国学院大学の剣道部は伝統のある部活でしたが、数年前に一度廃部となっていました。しかし、現部員たちの「剣道をやりたい」という強い想いに加えてOBの方々や四国学院大学の職員の方々、そして剣道連盟の先生方のご協力があり、4年前に新生四国学院大学剣道部として新たなスタートを切ることができました。年々、新入部員も増え、一昨年から試合への参加も可能となり、昨年は念願であったOBとの合同稽古会を開催するとともに段審査受験者全員合格という快挙を果たしています。今後とも部員一同一致団結し、伝統ある剣道部の新たな歴史の一ページを刻んでいきたいと思っています。まだまだ私個人としても新生剣道部としても未熟なところばかりですので先輩方のご指導、ご支援よろしくお願ひ致します。近くに寄られる機会がございましたら是非いらして下さい。部員一同心よりお待ちしております。

主将(4回生) 森末哲史
mt.77112299@gmail.com



現役部員



稽古風景



剣道部OBの方々稽古会

Welcomeホームカミング

56年ぶりのホームカミング

1960年度英語科卒業 西山厚生

「ちゃんとキョウイクとキョウヨウやってるかい?」これが我々の挨拶です。なにしろ、我々は四国学院短期大学の一期生です。即ち、1959年4月入学・1961年3月卒業ですから、最若年者でも今年77歳の喜寿を迎える仲間達です。先程のキョウイクは「今日行くところ」キョウヨウは「今日の用事がある」を積極的に自分から作って実践し、心身共に健康を維持しようという意味です。とは言っても、仲間は減ることはあっても増えることはなく、だんだんさみしく感じ始めていたところ、昨年6月、佐伯さんから「最後のクラス会を普通寺でやらないか?」とのメールが入電し賛同。早速仲間と手分けし、普段から交信のある連中に当たったところ、好反応を得たので、下記要領で具体的に計画を進めることにしました。

2016年10月10日 休暇村讃岐五色台 宿泊 11日 四国学院訪問

結果11家族14名の一期生仲間となんと、我々の在学中に生物学の先生だったブリッジマン先生の息子さんと現在岡山で宣教師をしているポールさん(当時5歳)を佐伯さんが見つけ出し、誘ったところご夫妻で参加してくれる事となり、結局12家族16名が参加することとなりました。10日の夜は、夕焼けをバックにした瀬戸の島々を眺めながら夕食を楽しみ、その後の懇親会では卒業以来初めて会う仲間もいて、たちまち56年前にタイムスリップ、思い出話に花が咲きました。翌11日お昼前に懐かしの「ALMA MATER」到着。同窓会の山本会長他関係者の方々の出迎えを受け、在学時とは一変した学内風景に驚きながらロゴス館で一服後、末吉学長を表敬訪問。学長から「学院の現状と将来への展開につき」お話を伺いました。若者の絶対数減少の中、他校との差別化を図りながら学生数を確保する難しさを痛感したひとときでした。昼食は学食を利用していただき、ここでも今昔の食事情が話題となりました。食後、機会あったら又会いましょうと言うことで自由解散。思い出を土産にして帰路につきました。最後になりましたが、本企画に協力していただいた学院・同窓会の方々、本当にお世話になりました。有り難うございました。



2号館前で



学生に交じって食堂で昼食 四国学院大学末吉学長を表敬訪問

第15回考古学研究部OB「はにわの会」

1997年度人文学科卒業 岡村幸広

四国学院大学を卒業して、はや十八年の月日が経ちました。しかしながら、大学時代を振り返ってみると、ついこの間の日々のように、十九年前の光景がよみがえってきます。とは言え、私自身は、在学中にやり残したことがあったため?、大学卒業後も二年間大学に残ったことを考えると、大学には六年間いたことになりませんが…。

大学時代は、考古学研究部に所属をさせてもらい、毎年夏には、普通寺市教育委員会の職員の方々にお世話になり、遺跡の発掘調査に参加をさせていただいていました。夏の発掘現場はとても暑かったのですが、市の職員の方々や大学の先輩方に多くのことを教えてもらいました。普通に生活を送っているだけでは体験できないことをさせていただき、今の私の仕事にも大きな財産となっています。

また、大学での生活においても、大学で出会った仲間たちと熱心に勉強をしたり?、時には議論を交わしながら、酒を飲んだりしながら、今後の人生においての一生の友人を作ることでもできました。のんびりとした時間を、ぼーっと過ごしていたようにも思えるのだけれども、今振り返ると、そのぼーっとした時間が、大きな財産になっていることに気づかされます。

今回で、第十五回目の考古学研究部OB会「はにわの会」を三月下旬に開催することができました。この会を通して、大学時代を共に過ごした、諸先輩方、後輩を含めた仲間たちと、若き時代に戻って、あの頃を懐かしむひと時を過ごしています。それは、私にとって、なぜかとても心地のいい時間です。卒業後、私の思いつきで始まったこの「はにわの会」が、十五回目を迎えた今、私にとって、こんなにも大切な時間になるとは思いもよりませんでした。今は、なんとか就職をして、家族もでき、それなりに忙しい日々を送っています。その日々の生活の中に、年に一度、立ち止まって、当時の仲間たちと昔を振り返り、思い出話に花を咲かせる他愛もない時間を持つことが、本当に幸せだと感じます。私の人生において、こんなにも大切な宝物を、四国学院大学での生活を通して得ることができたことは本当に感謝しています。今年度もいつものように第十六回目の「はにわの会」が開催される予定です。またその日を楽しみに、明日からの日々をしっかりと生きていきたいと思えます。もっと若い世代でも、現役生でも、考古学研究部員なら、誰でも参加可能のようです。もし日程が合うようでしたら、みんなでいろんな話に花を咲かせましょう。これからも、この「はにわの会」がしつこく長く続きますように…。

1998年期社会福祉学科、教育学科合同同窓会

去る4月29日(土)16時から本学学生会館喫茶室にて、98年期社会福祉学科、教育学科卒業生合同同窓会を執り行いました。以前、社会福祉学科の同窓会を開催させていただきましたが久々に同級生の元気な姿を見て(やっぱり同窓会はいいなあ)と感銘を受けました。何年かに一度は同窓会を開催しようと言っていた矢先に東日本大震災が発生しその年の同窓会は、中止せざるをえない状況になりました。しかし、全国の同級生から年賀状やFacebookで同窓会を開催して欲しい便りを沢山頂き実現するまでとなりました。社会福祉学科10名、教育学科15名、合計25名の参加者と学生時代では、お目にかかることはできなかった先生方。この度の同窓会を企画することでご多用中のところ教育学科、会沢先生、元井先生に出会う機会が出来、大変お元気な姿を見聞き嬉しく感じました。4年間という長いようで短い学生生活でありましたが19年ぶりに同級生と出会うことは大変嬉しくもあり日々の生活に勇気や希望を持たせてくれる素晴らしい会であると再認識しました。

この度、同窓会を開催したいと話した友人は学生時代、下宿先が隣人で卒業してから音信不通だったところFacebookで繋がり、それから沢山の同級生と繋がり学生時代では面識がなかったが、幾度の同窓会打ち合わせで仲良くなりました。この度、自身の仕事やプライベートの時間を削り同窓会進行に日夜努めて下さった世話役の皆さんのお陰で大変素晴らしい同窓会を開催することが出来ました。来年以降は、学科を増やして行こうと考えています。

卒業して19年が経ちますが、在学中に比べ学内の芝生が多く敷かれ学生専門棟に導く歩道も完成し、ノース館、図書館が新しく建設され学内が大変綺麗になりました。このような環境のもと、今の学生を羨ましく感じるのと同時にこれからもずっと四国学院大学が存続していくことを望んでいます。そして、全国に住む同級生の皆様が久しぶりに出会う場を常に発信し続けていこうと思っています。

社会福祉学科卒業 福田直章

大学を卒業して、ちょうど19年が経ち、19年ぶりに同窓会という場で同級生と再会しましたが、やはり同級生はいいなあと感じました。日本の人口は1億2000万人いますが、そのうちに出会えるのはほんの一握りです。当時の話題で話が尽きず、また先生とも当時のお話ができ、本当に夢のような時間でした。人生は楽しいことより苦しいことのほうが何倍も多いのが現実ですが、同窓生との交流にてお互い刺激あふ、これからの生きる糧にできればよいなあと思います。

教育学科卒業 近藤弘

19年ぶりの同窓会を終えて。同級生や恩師に会い、あの当時を振り返り懐かしみ、近況を聞いて、お互い頑張ってるなど嬉しく感じ、非常に有意義な時間を過ごす事が出来た。今回、仕事の都合等で来れなかった友人もいたので、また集まって楽しい時間を共有したいですね。

教育学科卒業 松下雅俊

幹事 同窓会発案から2次会まで、幹事の方お疲れ様でした
(社会福祉学科) 福田(住本)直章、町田(黒田)知子、三野(三谷)由美
(教育学科) 近藤弘、植松洋、松下雅俊、浅海(原田)由美



四国学院大学学生課外活動支援

四国学院同窓会では、全国大会出場を果たした団体(個人)に対し、寄付および支援金支給により学生の頑張りを応援しています。お住まいの近くで試合がありましたら、温かいご声援をよろしくお願いたします。

2016年度会報発行以降

- 第38回皇后杯
全日本大学女子サッカー選手権大会出場(2016年10月)
- 第65回全日本大学男子サッカー選手権大会出場(2016年12月)
- 第17回大学女子サッカー地域対抗戦出場(2017年 2月)
- 第66回全日本大学野球選手権大会出場(2017年 6月)
6月6日(火)対東北福祉大学(1-0)1勝
6月7日(水)対九州産業大学(1-2)惜敗



2017年度 第56回四国学院大学祭

11月11日(土)・12日(日)に開催します。12日は、昨年同様、ファイヤーダンサーを招いてのボンファイアーなどを企画しています。

■お問い合わせ
四国学院大学大学祭実行委員会
4gaku.fes@gmail.com



同窓会企画は決定しましたら、ホームページに載せさせていただきます。

2016年度 四国学院同窓会 大学祭展示『大学祭の歴史を紐解く』を一部紹介します。

(2012年度卒業の永森裕基さんに、資料提供等ご協力をいただきました。)

四学祭テーマ二覽

- 1964(第4回) われわれ相互の協力で一致統合、意義ある学院の前進
- 1965(第5回) WHY?
- 1966(第6回) LOOK BACK IN ANGER!
- 1968(第7回) 和
- 1970(第9回) 自由へそして自由から
- 1971(第10回) めざまめ幻想から
- 1972(第11回) 打ち破れ現状を、不安と苦しみのただよう中で、仲間の叫びを我らの叫びに変革の力を
- 1973(第12回) 安眠からめざまめ未踏の世界へ踏み出そう
- 1974(第13回) 飛翔、あしたのために
- 1975(第14回) 新生
- 1976(第15回) 友よ!我らの力で歴史の歯車を前へ
- 1977(第16回) 創造—未来を我らの力で!—
- 1978(第17回) とどろけ世界へわれらの願い、激動のこの時代に
- 1979(第18回) 原点—連帯から団結へ、今、新たなる創造の時!
- 1980(第19回) 挑んでつかあ
- 1981(第20回) 維新—飛躍への起点
- 1982(第21回) ALIVE—躍動—
- 1983(第22回) 個性—WAVE
- 1984(第23回) With 友、優、勇、遊
- 1985(第24回) 夢・come true
- 1987(第26回) Nice to meet you—はじめまして
- 1988(第27回) 君は誰ですか
- 1989(第28回) だから君じゃなきゃだめなんだ
- 1990(第29回) WE LIKE SEEING YOU—新しい出会いを求めて
- 1991(第30回) NEW WAVE—これから僕らが—
- 1992(第31回) ウォーク—1秒ごと未来—
- 1993(第32回) BEING—ここにあるということ
- 1994(第33回) 幸せはこんなカタチで四学祭
- 1995(第34回) 誠に勝手ながら一、二、三日は四学祭の日とさせていただきます。
- 1996(第35回) 君に見せたいものがある
- 1997(第36回) 四遊記
- 1998(第37回) ぶらり四学の旅
- 1999(第38回) いち、にい、さんして四学祭
- 2000(第39回) 三十九年間吟醸 ぐいっとぐいっと四学祭
- 2001(第40回) 40歳、脂がのってます四学祭
- 2002(第41回) 宝島☆四学祭~君の何かを探しに行こう~
- 2003(第42回) 極(きわみ)
- 2004(第43回) 0~ZERO~四学祭
- 2006(第45回) 信州信濃のそばよりもやっぱりあなたのそばがすぎ
- 2007(第46回) IT'S笑TIME
- 2008(第47回) 一祭合祭
- 2009(第48回) 四輝祭々
- 2010(第49回) NO BORDER
- 2011(第50回) 五十歩飛躍歩
- 2013(第52回) カオスからの創造
- 2014(第53回) めたもるふおーぜ
- 2015(第54回) 土俵入り
- 2016(第55回) Now&Next

2017年度主な同窓会活動

1. 同窓生支援制度の実施
 - ①「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学支援制度」
 - ②「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」
 - ③「卒業証明書等発行手続き、大学施設借用手続き代行」
2. ホームカミングの支援
3. 四国学院大学学生課外活動団体(個人)への支援
4. 大学の企画・プロジェクトへの協力・提携
5. 就職支援
6. 同窓会会報「ロゴスだより」の発行
7. ロゴス館(同窓会館)の運営

ロゴス館(同窓会館)使用料 無料開放日 2017年11月11日(土)

同窓生のホームカミングを歓迎します。受入には限りがありますので、お早めにご予約ください。



全景



2階 洋室
(6人,10人)
各1室
1人
1,500円/1泊
シャワー共用



3階 個室
(4室)
1室
4,000円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)



ホール
(約40席)



2階 和室
(8人程度)
2室
1人
1,500円/1泊
シャワー共用



3階 和室
(4人2室)
1室
9,000円/1泊
お風呂・トイレ付
(タオル・浴衣有)

同窓会の会場やご家族、ご友人との旅行の宿としてもご利用いただけます。

【休館日予定】
8月13日~15日、
12月30日~2018年1月4日

【お問い合わせ・申込先】 四国学院同窓会 ※ホームページからお申込みができます。

同窓会封筒広告募集!!

現在、四国学院同窓会では、全会員(2万人)に向けて年1回、同窓会会報「ロゴスだより」を送付しており、また、同窓会各支部や大学との連絡用にも角2サイズの封筒を中心に使用しています。2018年度に会報「ロゴスだより」を送付する封筒の広告主様を募集いたします。準備ができましたら同窓会ホームページに要綱を載せさせていただきます。



熊本地震義援金

皆様からお寄せいただきました義援金は、2017年3月30日に「日赤平成28年熊本地震災害義援金」に寄付をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

住所変更届のお願い

四国学院大学の催し、各種同窓会等の案内をいたします。“転居先不明”で本会に郵便物が返送されてくる悲しいことになりませんように、ご自身で変更届をしてください。

四国学院同窓会会費納入のお願い

同窓生の皆様におかれましては、同窓会活動にご支援を賜りまして、深く感謝申し上げます。同窓会活動運営は、会費により成り立っております。皆様からお預かりした会費をいかに有効につかわせていただくかを考え活動しております。しかしながら、年々増加する同窓生数により、将来的にみますと同窓会財政が厳しい状況になってきております。過去を調べてみますと、1981年度以前の卒業生は年会費500円、1982から1990年度は年会費1000円で10年分の徴収がされていました。ついては、会費有効期間が満了しておられる1990年度以前の卒業生約9800人に、会費納入のお願いをさせていただくことといたしました。同窓生お一人お一人のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■対象者と納付額

①1990年度以前の卒業生	25,000円(終身会費のみ)
②1991年度以降の卒業生で終身会費を納めていない方	30,000円 (入金金5,000円、終身会費25,000円)

■振込方法

同封の「払込取扱票」にてお願いします。通信欄に、卒業年度・学科・旧姓もお書き添えくださるようお願いいたします。

※同窓会会費をすでに納められているか疑問の方はお問合せください。(入金済の方で振込票が同封されている場合は、ご了承ください) ※会費納入が重複した場合を除いて、一旦納入した会費は原則として返還はできません。寄附金の扱いとさせていただきます。 ※同窓会会費未納の方は、各種同窓生支援制度の対象となりません。

SARPvol.13 (演出 松井周)

四国学院大学・アーティスト・イン・レジデンス・プログラム(通称SARP/サーブ)とは、四国学院大学の身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーが主体となって制作する公演の名称です。毎回、プロの演出家・振付家が大学内の宿泊施設に1ヶ月以上滞在し、学生キャスト・スタッフとともに一般観客の鑑賞に耐えうるレベルの高い舞台作品を創作し上演することを目指します。Vol.13では、劇作家・演出家・俳優の松井周氏をお招きし、松井氏演出の作品を上演(2017年11月22日~26日)します。

(問合せ先) 四国学院大学パフォーマンス・アーツ研究所(SIPA) TEL:0877-62-2324

ノトスクール 音楽劇『白雪姫と7人のこびと』

ノトスタジオでは、地域の方々にアートとふれあい、言葉とからだを通して表現する経験を提供することを目的とする教育プログラム、ノトスクールを定期的に開催しています。身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーの特徴を生かした、演劇や即興演劇、コンテンポラリー・ダンスのワークショップを実施し、新しい劇場のあり方を常に模索しています。今回は、大学生たちが子供向け音楽劇『白雪姫』を子供たちも参加できる形で上演(8月26日~27日)します。

(問合せ先) 四国学院大学 学生 commons 支援課 TEL:0877-62-3966

スクール・ソーシャルワーク
活用講座 in SGU 2017

教育相談担当教職員およびSSWerの個別援助・支援技術の向上と多職種連携によるチーム支援の方法等の習得を目的とします。

プログラム日時
①7月26日(水) 13:30~15:00 ②8月23日(水) 13:30~15:00
③9月27日(水) 13:30~15:00 ④10月25日(水) 13:30~15:00
⑤11月15日(水) 13:30~15:30 ⑥12月6日(水) 13:30~15:30

会場 四国学院大学(8号館)駐車場あり(1回300円) 受講料 500円/1回

お問い合わせ先 四国学院大学リエゾン・センター TEL: 0877-62-2111(内線:545)
〒765-8505 FAX: 0877-62-2208
普通寺市文京町3-2-1 E-mail: liaison@sg-u.ac.jp

2017年度
キャリア拡充演劇ワークショップ

現在、さまざまな社会現場において、他者との関係を構築しそれを維持する力や自分と意見や考え等が異なる人とも円滑に交流する力、チームワークや協働など、コミュニケーションがベースになる力の重要性が高まっています。それらを学ぶ機会としてプロのファシリテーターを講師に迎え、実際に教育現場や社会福祉の現場で行われているワークショップを体験し、コミュニケーションやワークショップの有用性について学びます。本講座は教職や社会福祉士受験資格本学取得を目指す本学学生が受講しています。どなたでも見学自由です。2017年度は、5月20(土)・21日(日)に林成彦氏、6月10日(土)・11日(日)にわたなべなおこ氏を講師としてお招きし実施し、10月28日(土)・29日(日)には菅原直樹氏、11月18日(土)・19日(日)は田野邦彦氏を講師としてお招きして実施します。

(問合せ先) 四国学院大学 学生 commons 支援課
TEL:0877-62-3966

レクチャーシリーズ「大学・高校教育研究21」
ロボットを使った次世代教育

本学の平田オリザ学長特別補佐が、教育関係者の方を対象に、ロボットと演劇をコラボレーションした次世代教育のシミュレーションを地域の高校生と創造する試みです。講演の前半部分は次世代教育の授業の様子を見学いただき、後半には見学いただいた授業を振り返りながらレクチャーを行います。詳細は本学ホームページをご覧ください。

日時 8月21日(月) 会場 四国学院大学ノトスタジオ

お問い合わせ・申込先 〒765-8505 普通寺市文京町3-2-1
TEL: 0877-62-2111(内線:545)
四国学院大学 FAX: 0877-62-2208
リエゾン・センター E-mail: liaison@sg-u.ac.jp

事務所閉室期間中の証明書の発行

2017年度は8月11日~17日の期間中、事務所が閉まります。この間、同窓会関係の証明書は、発行停止となりますので、就職活動や大学院進学等で証明書の必要な方は、早めに申込みをしてください。



四国学院同窓会同窓生支援制度のご紹介

1. 四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学支援制度

同窓生および関係者の経済的支援を図り、同窓生本人、同窓生本人の父母・子・兄弟姉妹・祖父母・孫が入学する場合、入学金を全額免除する。

2. 四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度

四国学院大学では同窓生の学習意欲を応援しています。教員免許など資格の取得を目標にしていたが、卒業までに必要な単位を修得することが出来ず、改めて資格の取得を目指そうと考えている同窓生、純粋に教養を身につけたいと考えている同窓生のために設けられている制度です。

- 内容 四国基督教学園、四国学院短期大学、四国学院大学、四国学院大学 ①学部科目等履修生の登録料を免除する。(20,000円免除)
学院を卒業した者で、学部科目等履修生または学部科目聴講生として登録した者は、右記のとおり免除および減額します。ただし、四 ②学部科目の科目等履修料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)
国学院大学院生として在籍している者は、対象から除きます。 ③学部科目の聴講料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)



予約型支給奨学金

この奨学金は、本学を第一志望とする方で、経済上の事情で修学困難な学生への支援を目的にしたものです。入試出願前に申請いただき、審査の結果、採用となった方に入学後の奨学金支給を事前にお約束いたします。支給額は年間200,000円(原則4年間)で、返済義務はありません。

問合せ先 入試課
フリーダイヤル 0120-459-433



介護福祉士を取得したい方へ

四国学院大学を卒業後、四国学院大学専門学校に入学し卒業することで、介護福祉士国家試験の受験資格が取得できる制度が導入されています。本学卒業生は、入学金が免除になります。また、香川県の修学資金制度を利用する場合、卒業後、香川県内で介護業務に就き5年間従事すれば、最大168万円の返済が免除になります。(他県での修学資金の利用もできます。)

また、四国学院大学専門学校内に介護福祉士実務者研修センター<通信制>が設置されました。現在介護業務に従事していて、介護福祉士の資格を考えている卒業生の方は、必須課題として実務者研修修了が受験資格になります。通信の良さは自宅で自分のペースで学べる事です。学費は、入学金不要で、現在修了済みの研修等により金額が変わります。介護福祉士を目指そうとしている方は、四国学院大学専門学校にご相談ください。

問合せ及び資料請求先

学校法人瀬戸内学院 四国学院大学専門学校
フリーダイヤル 0120-72-5192 メールアドレス info2@setouchi.ac.jp



教育訓練給付制度(一般教育訓練)概要

教育訓練給付制度(一般教育訓練)とは?

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。

給付制度対象の指定講座は?

教育訓練給付の対象となる講座は、厚生労働大臣の指定を受けていることが必要です。本学大学院では、2015年4月1日~2018年3月31日の期間、下記研究科・専攻が教育訓練講座として指定されています。

教育訓練施設名: 四国学院大学

教育訓練講座の名称: 社会福祉学研究科社会福祉学専攻
社会学研究科社会学専攻

給付額

教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%に相当する額となります。ただし、その額が10万円を超える場合は10万円とし、4千円を超えない場合は支給されません。

利用資格

受講開始日現在で雇用保険の被保険者であった期間が3年以上(初めて支給を受けようとする方については、当分の間、1年以上)あること、前回の教育訓練給付金受給から今回受講開始日前までに3年以上(※)経過していることなど一定の要件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合に支給。

※2014年10月1日前に教育訓練給付金を受給した場合はこの取扱は適用されません。

利用を希望する場合は?

学生コモンズ支援課(TEL:0877-62-3966)までご相談ください。



社会福祉士・精神保健福祉士の受験をお考えのみなさまへ

昨年度に引き続き、卒業生も本学キャンパスで「社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」(主催:日本ソーシャルワーク教育学校連盟)を受験することができます。受験対策にぜひご活用ください。詳しくは、大学ホームページ「卒業生の方へ」をご覧ください。

四国学院大学が
LINE@はじめました。

最新の大学情報を配信中!友だち登録お待ちしています。

Facebookも更新中!▶ <https://www.facebook.com/shikokugakuin/>



見て、聴いて、触れて、感じる。四国学院大学の雰囲気直接体験してみよう

2017年度オープンキャンパス

大学紹介、モデル授業、個別相談会、キャンパスツアー、保護者対象説明会、その他多数のプログラムを実施いたします。お気軽にご来場ください。

7/22
sat

11:00~15:30

※Anthony Hutchinson
ダンスワークショップ同日実施

8/11
fri

11:00~15:30

9/23
sat

11:00~15:30

オープンキャンパスや入試に関する
お問い合わせ・資料請求は

入試課



0120-459-433

TEL0877-62-3964(入試課直通)

E-mail info@sg-u.ac.jp HP <http://www.sg-u.ac.jp>

オープンキャンパス以外の日程でも個別相談・施設見学など随時受け付けております。お気軽に入試課までお問い合わせください。無料送迎バスルートについて、詳しくはホームページをご参照ください。